

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第3週の発生動向

トピックス

インフルエンザ (定点把握対象) : 第3週(1/12~1/18)の県内の定点当たり報告数は99.6と、1999年(現行の感染症法施行)以降最大となりました。県内では、今シーズンはインフルエンザAH3型が検出されています。詳細後述。

全数報告の感染症 (3週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症: 報告なし。2類感染症: 結核6例。3類感染症: 報告なし。4類感染症: つつが虫病2例。5類感染症: 急性脳炎1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	結核性胸膜炎	咳、痰、発熱、胸痛
			80歳代	女	肺結核	画像所見あり
			80歳代	女	肺結核	痰
		都城	80歳代	女	肺結核	—
			80歳代	男	結核性胸膜炎	発熱
			日向	50歳代	男	疑似症患者
4類	つつが虫病	宮崎市	50歳代	男	—	発熱、発疹
		小林	80歳代	女	—	発熱、発疹
5類	急性脳炎	日向	20歳代	男	インフルエンザウイルスA	頭痛、嘔吐、意識障害
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	60歳代	女	—	ショック、中枢神経症状、肺炎、菌血症 血清群A群
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	60歳代	女	—	全身倦怠感、意識障害、肺炎、菌血症 血清型未実施 ワクチン接種歴なし

《前週との比較》

定点把握の対象となる5類感染症

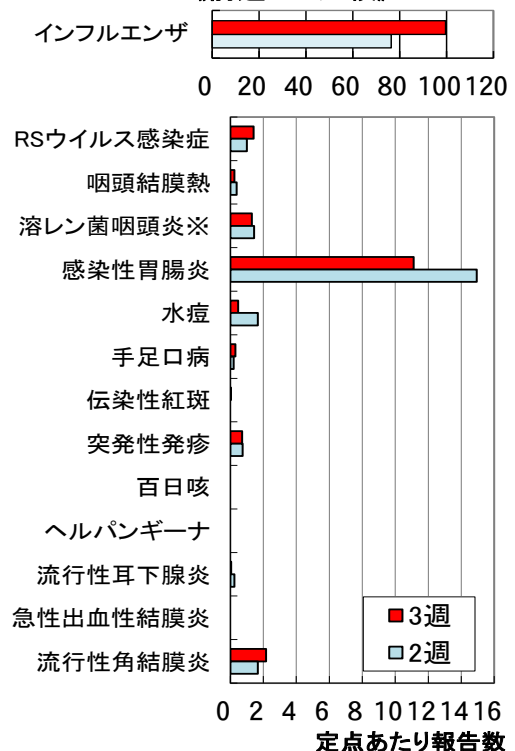
・定点医療機関からの告総数は6,452人(定点あたり117.4)で、前週比119%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症で、減少した疾患は感染性胃腸炎と水痘であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

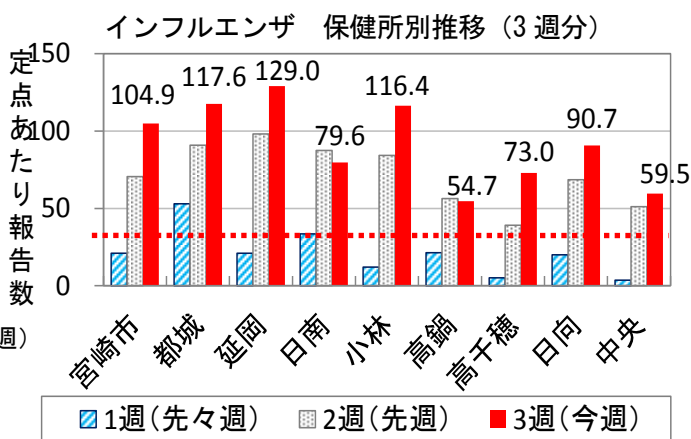
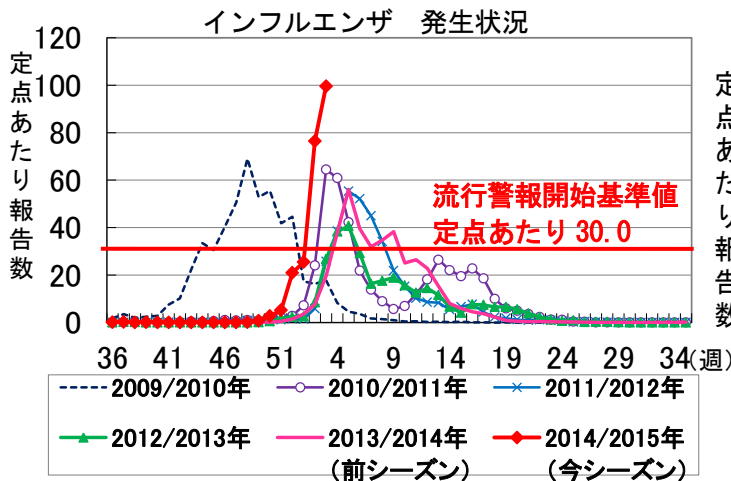
【インフルエンザ】

・報告数は5,875人(99.6)で、前週比130%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(29.9)の約3.3倍で、1999年以降最大であった。延岡(129.0)、都城(117.6)、小林(116.4)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳未満が全体の25%、5-9歳が30%、10-14歳が17%、15-19歳が4%、20-59歳が18%、60歳以上が6%を占めた。

* 過去4年間の当該週、前週、後週(計12週)の平均値



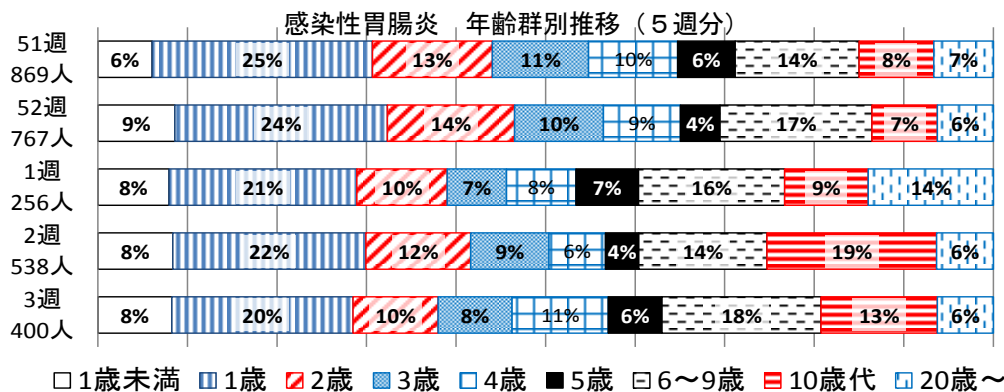
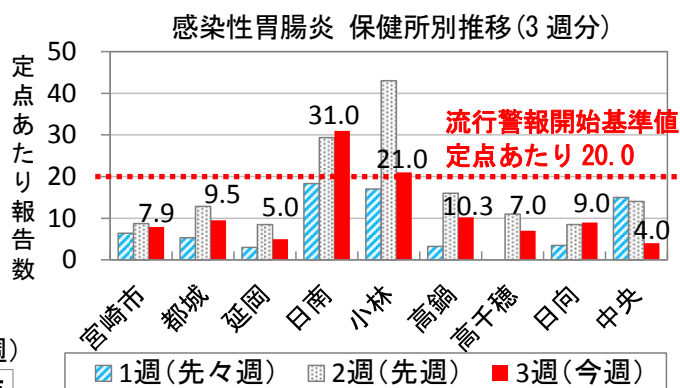
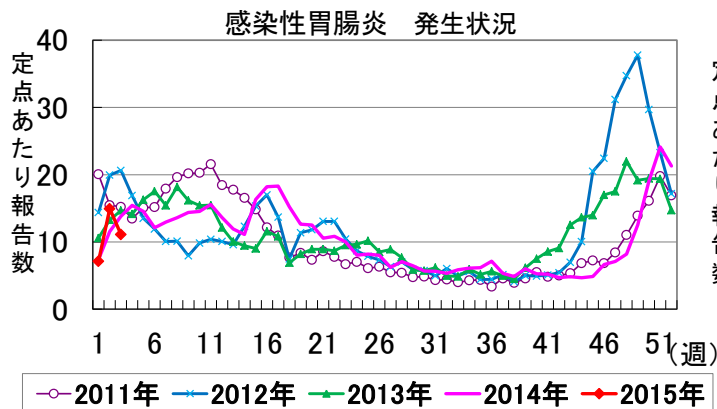
※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



【感染性胃腸炎】

・報告数は400人(11.1)で前週比74%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(17.1)の約0.7倍であった。日南(31.0)、小林(21.0)保健所からの報告が多く、年齢別割合はグラフに示す。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(104.9)
都城	インフルエンザ(117.6)
延岡	インフルエンザ(129.0)
日南	インフルエンザ(79.6)、感染性胃腸炎(31.0)
小林	インフルエンザ(116.4)、感染性胃腸炎(21.0)
高鍋	インフルエンザ(54.7)
高千穂	インフルエンザ(73.0)
日向	インフルエンザ(90.7)
中央	インフルエンザ(59.5)

* 流行警報レベル開始基準値*

・インフルエンザ(30.0)

・感染性胃腸炎(20.0)

📍 全国第2週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第2週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	294 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	15 例	パラチフス	1 例
4類感染症	A型肝炎	5 例	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	2 例
	デング熱	7 例	レジオネラ症	20 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	14 例
	急性脳炎	9 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例
	後天性免疫不全症候群	13 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	49 例	水痘（入院例）	6 例	梅毒	14 例
	破傷風	1 例	麻しん	2 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比 172%と増加した（前週は年末年始の休診含む）。今週増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、大幅に減少した疾患はなかった。

インフルエンザの報告数は 163,716 人(33.3)で、前週比 155%と増加した。宮崎県(76.4)、沖縄県(63.0)、熊本県(57.2)からの報告が多く、年齢別では5歳未満が全体の約21%、5～9歳が19%、10～14歳が11%、15～19歳が5%、20～59歳が34%、60歳以上が10%を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は25,750人(8.2)で、前週比236%と増加した。宮崎県(14.9)、福井県(14.6)、大分県・鹿児島県(各12.4)からの報告が多く、年齢別では1～3歳が全体の約4割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第3週(1月12日～1月18日)

疾病名		第2週	第3週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	4509	5875	1679	1176	903	398	582	328	146	544	119
	定点あたり	76.42	99.58	104.94	117.60	129.00	79.60	116.40	54.67	73.00	90.67	59.50
RSウイルス 感染症	報告数	36	51	17	13	9		3	7		2	
	定点あたり	1.00	1.42	1.70	2.17	2.25	0.00	1.00	1.75	0.00	0.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	14	9	3	2	2	1				1	
	定点あたり	0.39	0.25	0.30	0.33	0.50	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	52	47	20		5	3		6		6	7
	定点あたり	1.44	1.31	2.00	0.00	1.25	1.00	0.00	1.50	0.00	1.50	7.00
感染性胃腸炎	報告数	538	400	79	57	20	93	63	41	7	36	4
	定点あたり	14.94	11.11	7.90	9.50	5.00	31.00	21.00	10.25	7.00	9.00	4.00
水痘	報告数	60	17	7		2	3		1		3	1
	定点あたり	1.67	0.47	0.70	0.00	0.50	1.00	0.00	0.25	0.00	0.75	1.00
手足口病	報告数	7	11	3	7	1						
	定点あたり	0.19	0.31	0.30	1.17	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	27	26	5	9	5	2	2			2	1
	定点あたり	0.75	0.72	0.50	1.50	1.25	0.67	0.67	0.00	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	9	2		1						1	
	定点あたり	0.25	0.06	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	10	13	12	1							
	定点あたり	1.67	2.17	4.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点: 59、小児科定点: 36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点: 6、基幹定点: 7

上段: 報告数
下段: 定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～3週)

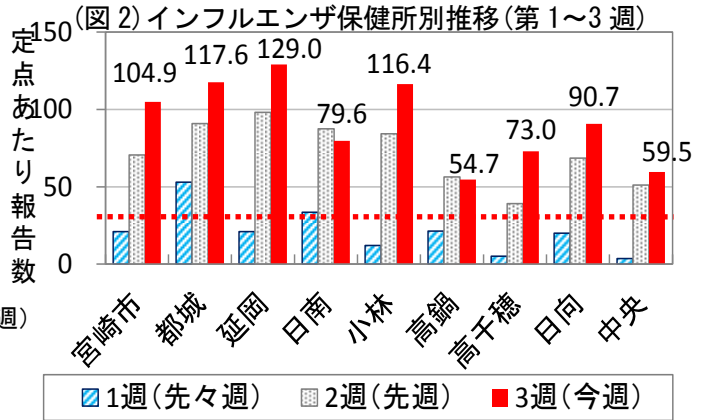
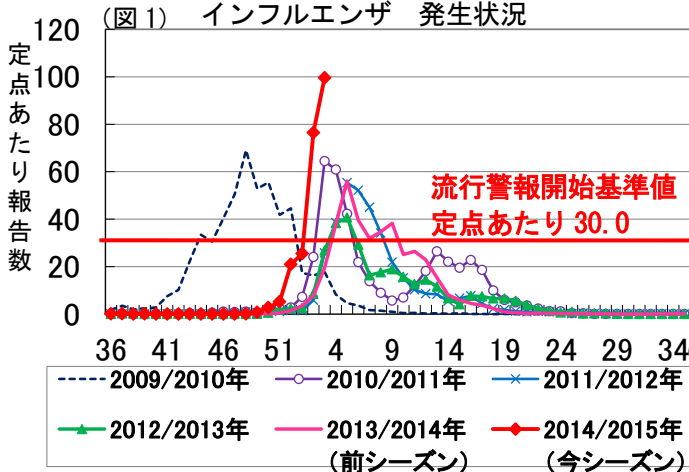
2類感染症	結核	10例(6)			
4類感染症	つつが虫病	3例(2)			
5類感染症	急性脳炎	1例(1)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例(1)	侵袭性インフルエンザ菌感染症
	侵袭性肺炎球菌感染症	2例(1)			1例

()内は今週届出分、再掲

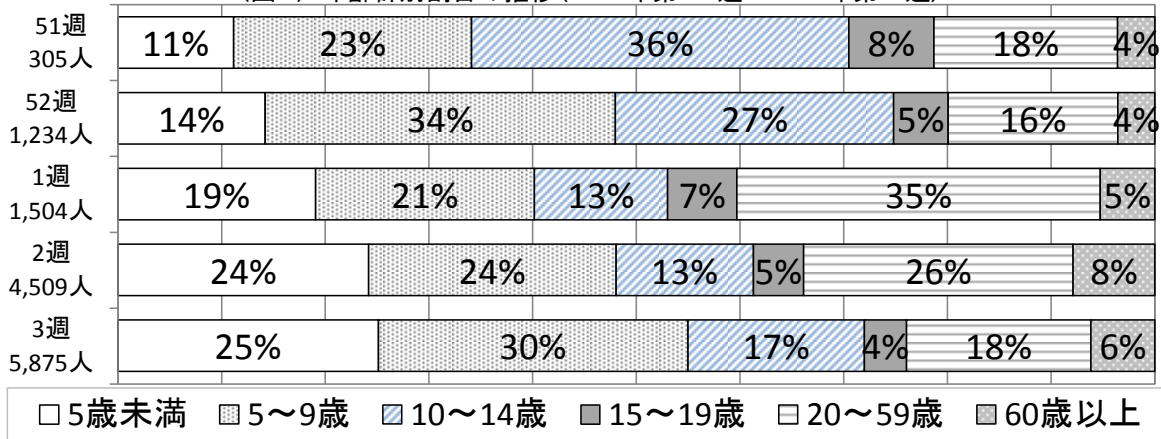
インフルエンザ情報《県内第3週、全国第2週（再掲）》

□ 県内第3週インフルエンザ発生動向

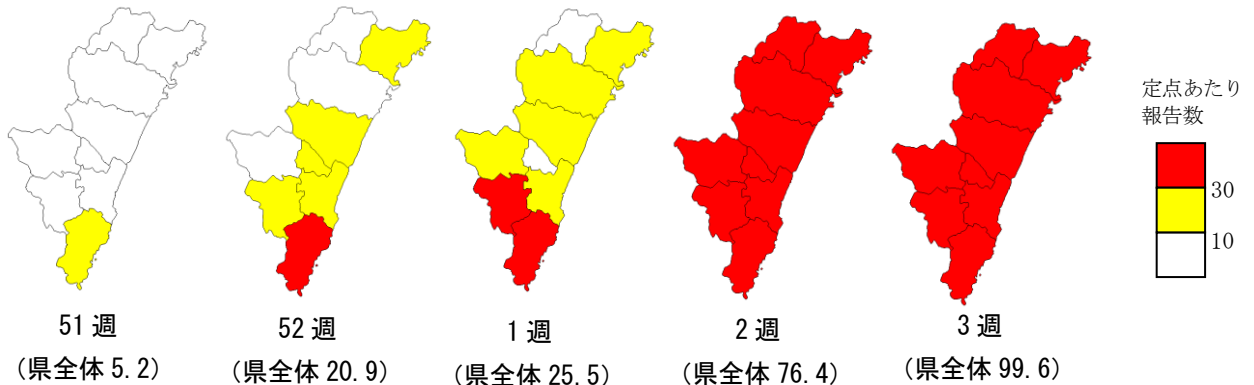
2015年1月12日～1月18日までの1週間で5,875人（定点あたり99.6）の報告があり、前週の約1.3倍に増加した（図1）。例年同時期の定点あたり平均値（29.9）の約3.3倍で、1999年以来過去最高である。保健所別報告数を（図2）、年齢群別報告数の割合の推移を（図3）に示す。



(図3) 年齢群別割合の推移(2014年第51週～2015年第3週)



保健所別インフルエンザ警報・注意報レベル状況 2014年第51週～2015年第3週



□ 全国第2週インフルエンザ発生動向

2015年1月5日～1月11日までの1週間で163,716人（33.3）の報告があり前週比155%と増加した。宮崎県（76.4）、沖縄県（63.0）、熊本県（57.2）からの報告が多く、27県で流行警報レベル開始基準値（30.0）を超えている。年齢別では、5歳未満が全体の21%、5～9歳が19%、10～14歳が11%、15～19歳が5%、20歳代～50歳代が34%、60歳以上が10%を占めた。